**横浜スペイン協会　スペイン・サロン**

**「グローバル化の起点としてのコロンブスとコルテス**

**ーー動植物・病原菌の移動と日本人移民を含めてーー」**

**元流通経済大学教授　　関 哲行**

**アメリカの「発見」・征服を契機とした、天然痘によるインディオ人口の大幅減少、黒人奴隷と密接に関わるサトウキビ栽培、マニラやリオの日本人移民などを扱う。**

関 哲行 氏　プロフィール

　　1950年　茨城県生まれ

****　　1983年　上智大学大学院文学研究科博士課程修了

　　2020年3月　流通経済大学社会学部退職

専攻：中近世スペイン社会史

研究テーマ：中近世スペインのサンティアゴ巡礼と民衆信仰、

　　　　　　中近世スペインのマイノリティ（ユダヤ人とコンベルソ、

　　　　　　モリスコ、黒人奴隷、女性）

**主要著書**

**『スペインのユダヤ人』山川出版社、 2003年**

**『スペイン巡礼史』講談社現代新書、 2006年**

**『旅する人びと』岩波書店、2009年**

**『忘れられたマイノリティ』山川出版社、2016年**

**『前近代スペインのサンティアゴ巡礼』流通経済大学出版会、2019年**

**日時：2025年7月19日（土）**

**時間：13：30―15：30（開場13：00**

**場所：波止場会館1階 多目的ホール**

**JR関内駅より徒歩15分あるいは**

**みなとみらい線日本大通リ駅より**

**徒歩5分**

**参加費：1,500円**

**お申込み&問い合わせ：**

**spain\_salon@yokohamaspain.jp**

**担当者：原**

